

平成27年度 青森県営浅虫水族館の管理運営状況

県所管課	観光国際戦略局 観光企画課
指定管理者	青森水族館管理株式会社 代表取締役 太田 守信
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
展示生物の飼育・展示	特徴ある常設展示と話題性のある特別企画展示を実施した他、海獣館ではアシカ、アザラシ、ペンギン等各動物の食事風景も公開した。
イルカショーの実施	通常のショープログラムの他、季節毎の特別バージョンを交えて感動とお客様との交流を重視したショーを実施した。
企画・広報・営業活動	ほぼ毎月催事を実施できるようイベントを企画し、各マスメディアを利用しての広報や営業活動を実施した。
売店運営	利用者のニーズを把握しサービスの向上と効率的運営を図った。
施設・設備の維持管理	年次計画による計画的な維持管理と日常的な保守作業により安定的な施設運営ができるよう取り組んだ。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
施設利用者数	H25	/	304,924人	(指定前の実績)	
	H26	309,400人	301,531人	94.9%	98.9%
	H27	306,800人	310,521人	101.2%	103.0%
	H28				
	H29				
	H30				
利用料金収入等	H25	/	314,775千円	(指定前の実績)	
	H26	326,569千円	315,252千円	96.5%	100.2%
	H27	321,953千円	325,976千円	101.2%	103.4%
	H28				
	H29				
	H30				

【増減理由】

平成27年度は、4月～8月は前年度に比べてやや不調であったが、シルバーウィークを境に徐々に回復し、12月のトンネル水槽のリニューアル効果、暖冬少雪ぎみの天候も幸いし、懸念されたイルカパフォーマンスの休止の影響を感じさせない入館者数を記録した。その結果、対前年比103.0%の実績となり、計画に対しても101.2%の実績となった。今後もマスメディアの活用をはじめとし、ネットによる情報発信に努め、利用者数の増加を図りたい。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	従前より行っているアンケートを参考にし、館内表示、休憩所、売店等館内の環境整備を図り利用者の利便性の向上に取り組んでいる。また、利用者満足度調査においても、高い評価を得ている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	季節毎にイベントを開催し、県内をはじめ北東北、北海道まで広く広報を実施しており、リピーターの確保に取り組んでいる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	4	4	施設、設備の維持管理及び修繕を適切に行いつつ、経費の節減に努めている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	4	4	事故発生時の連絡系統、通報・避難・消化を基本とした消防訓練の実施及び医療休憩室の整備が行われている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	4	4	毎月の定期報告書、四半期毎の経理状況報告、収支決算により執行を確認している。 経費の節減等により単年度黒字となっている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	5	5	平成 27 年度の事業として実施した海洋水槽のリニューアルや魚名開設、イルカパフォーマンス等の時間案内のデジタル化の推進によるサービス向上や広報・営業活動の積極的に行ったことで、総入館者数が 310, 521 人になるなど前年比 103.0%となった。 今後もよりきめ細やかなサービスの提供と積極的な広報の実施を促したい。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	4	4	管理運営に伴い取得した個人情報等については、青森県個人情報保護条例等により適正に運営できるよう情報管理者を定め、情報保護教育を行っている。
総合評価	4	4	利用者満足度調査において高い評価を得ていること、積極的な広報を行っていること、経費節減を図っていること等、多くの項目において評価できる。

○評価基準

- 5 (秀) : 業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4 (優) : 業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3 (良) : 業務水準書等の内容が満たされている
- 2 (可) : 業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1 (不可) : 業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する